

FY2024 1Q 決算概況資料

Summary of Financial Results

August 9, 2024

Credit Saison Co.,Ltd.

東証プライム市場上場 証券コード :8253

Tokyo Stock Exchange Prime Market, Securities Code: 8253

決算ダイジェスト

- ✓ **成長の柱となる3事業**（グローバル事業・ペイメント事業・ファイナンス事業）の**堅調な推移**により**増収**（連結純収益1,000億円・前年比116.5%）
- ✓ **ファイナンス事業**（セゾンファンデックスの利益貢献拡大、スルガ銀行との協業による利益拡大）、**グローバル事業**（Credit Saison Indiaの事業拡大）が**伸長**した一方で、前期**不動産関連事業**において計上した**不動産信託受益権売却益計上の反動**等の影響により**減益**（連結事業利益228億円・前年比97.0%）
- ✓ 前期不動産関連事業において計上した不動産信託受益権売却益計上の反動を除く**実力値**は**増収増益**（前年差+32億円・前年比116.4%）

決算サマリー／Financial summary

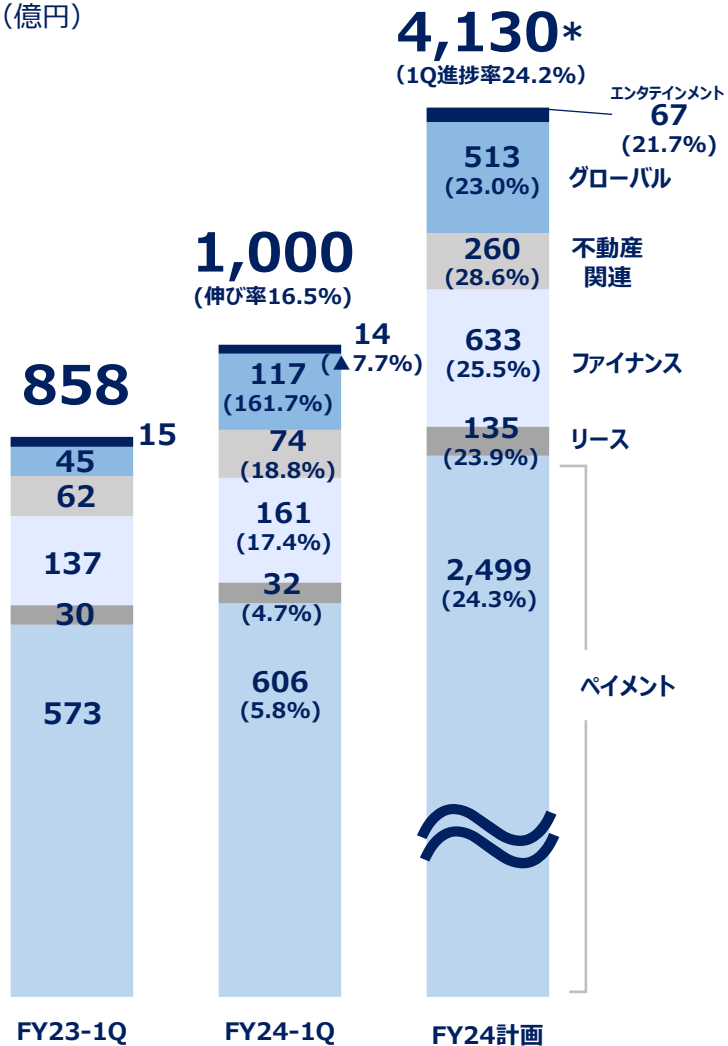
(億円／¥100 Million)

		FY23 1Q	FY24 1Q	前年比 YOY	FY24計画 plan	進捗率 Progress rate
連結 Consolidated	純収益 Net revenue	858	1,000	116.5%	4,130	24.2%
	事業利益 Business profit	235	228	97.0%	770	29.7%
	四半期利益 Profit attributable to owners of parent	169	165	97.9%	520	31.9%
単体 Non-consolidated	営業収益 Operating revenue	687	735	106.9%	3,030	24.3%
	営業利益 Operating profit	104	98	94.0%	425	23.1%
	経常利益 Ordinary profit	129	123	95.4%	480	25.8%
	四半期純利益 Profit	117	102	87.1%	340	30.0%

セグメント別業績概況

■ 純収益

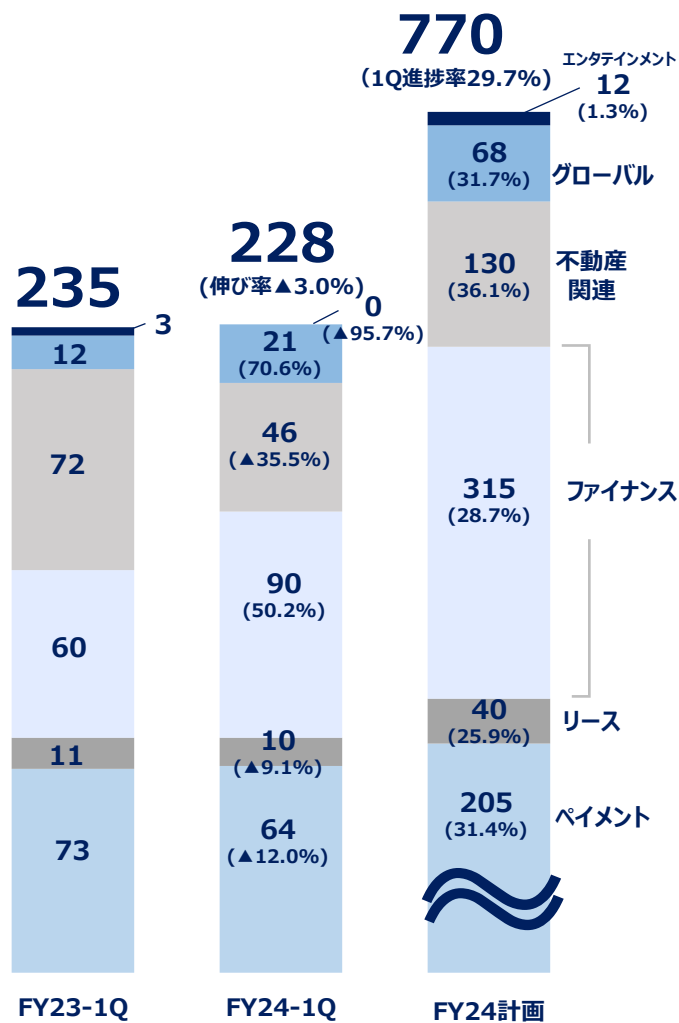
(億円)



*金融収益を含む

■ 事業利益

(億円)



1Q概況

ペイメント

プレミアム戦略による取扱高やリボ残高伸長により増収、貸倒コストの上昇に加え、将来収益獲得に向けた広告宣伝費の増加等により減益

リース

既存主力販売店への営業活動強化による増収の一方、貸倒コストの上昇により減益

ファイナンス

セゾンファンデックスやスルガ銀行とのグループビジネスの拡大により増収増益

不動産関連

セゾンリアルティの不動産信託受益権売却益の剥落により増収減益

グローバル

Credit Saison Indiaを中心としたレンディング事業の拡大により増収増益

エンタテインメント

新店舗オープンに伴う費用影響により減収減益

連結会社の貢献状況

■ 事業利益 連単差

(単位：億円)

	連結 事業利益	単体 経常利益	連単差
FY24-1Q	228.7	123.6	105.0
(前年差)	▲7.0	▲5.9	▲1.0

■ 連結会社の貢献状況

(単位：億円)

		事業利益 貢献	前年差	事業内容
主な 連結子会社	セゾンリアルティグループ	29.4	▲28.7	総合不動産事業
	(株)セゾンファンデックス	29.2	+6.6	不動産金融事業・信用保証事業・個人向け融資事業
	Kisetsu Saison Finance(India)Pvt. Ltd.	12.4	+8.4	インドにおけるデジタルレンディング事業
	セゾン債権回収(株)	5.2	+1.7	サービサー（債権回収）業
主な持分法 適用関連会社	スルガ銀行(株)	14.2	+14.2	銀行業
	(株)セブンC Sカードサービス	2.9	+0.2	クレジットカード事業
	高島屋ファイナンシャル・パートナーズ(株)	2.9	+0.2	クレジットカード事業、保険・投資信託・信託事業
	(株)セゾンテクノロジー*	1.3	▲0.6	システム構築・運用事業、データ連携ソフトウェアサービス事業

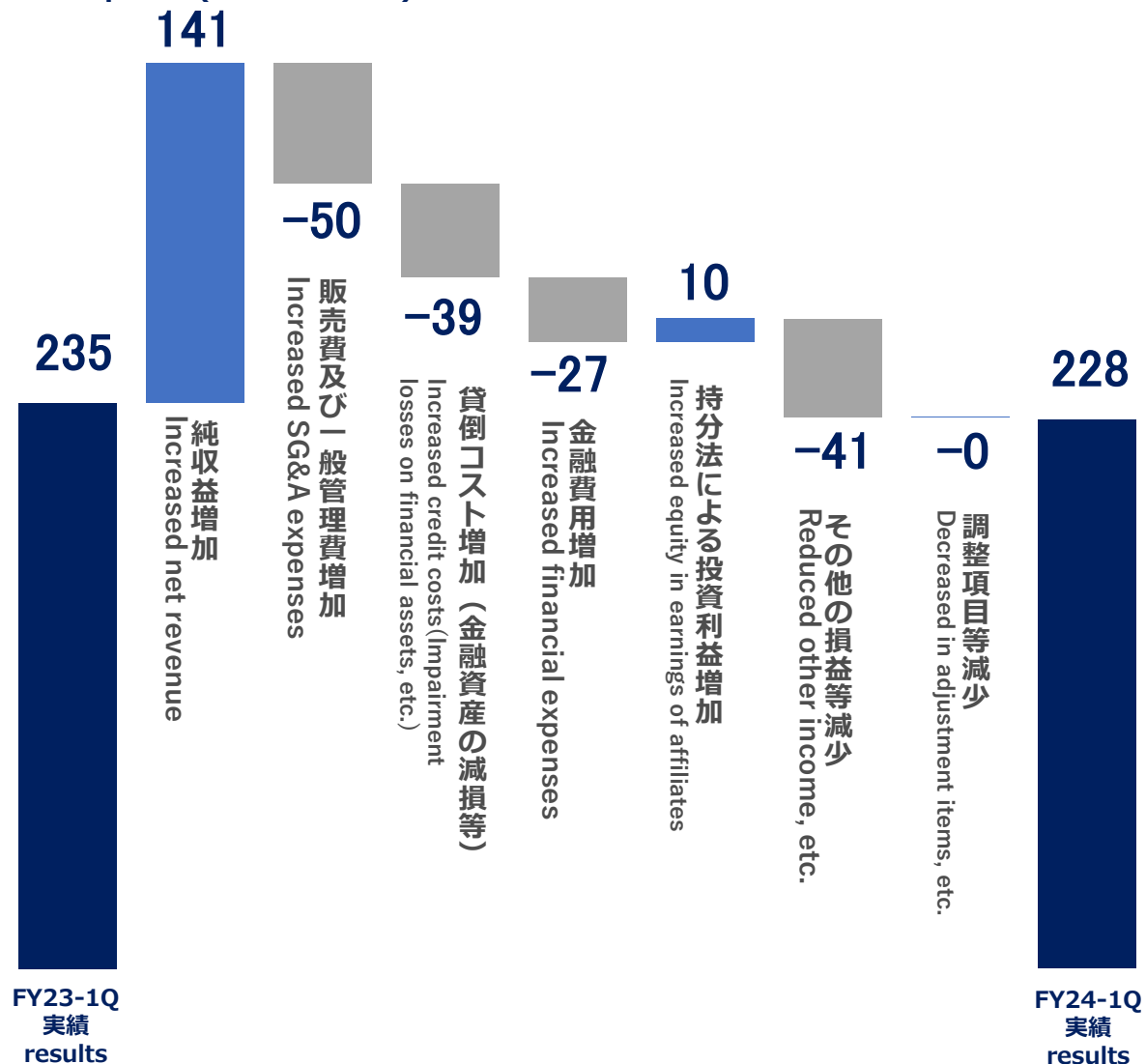
* (株)セゾン情報システムズは2024年4月1日に「(株)セゾンテクノロジー」に社名を変更いたしました。

連結・事業利益、単体・経常利益の主な増減

Main Increases/Decreases in business profit (consolidated), ordinary profit (non-consolidated)

■ 連結・事業利益

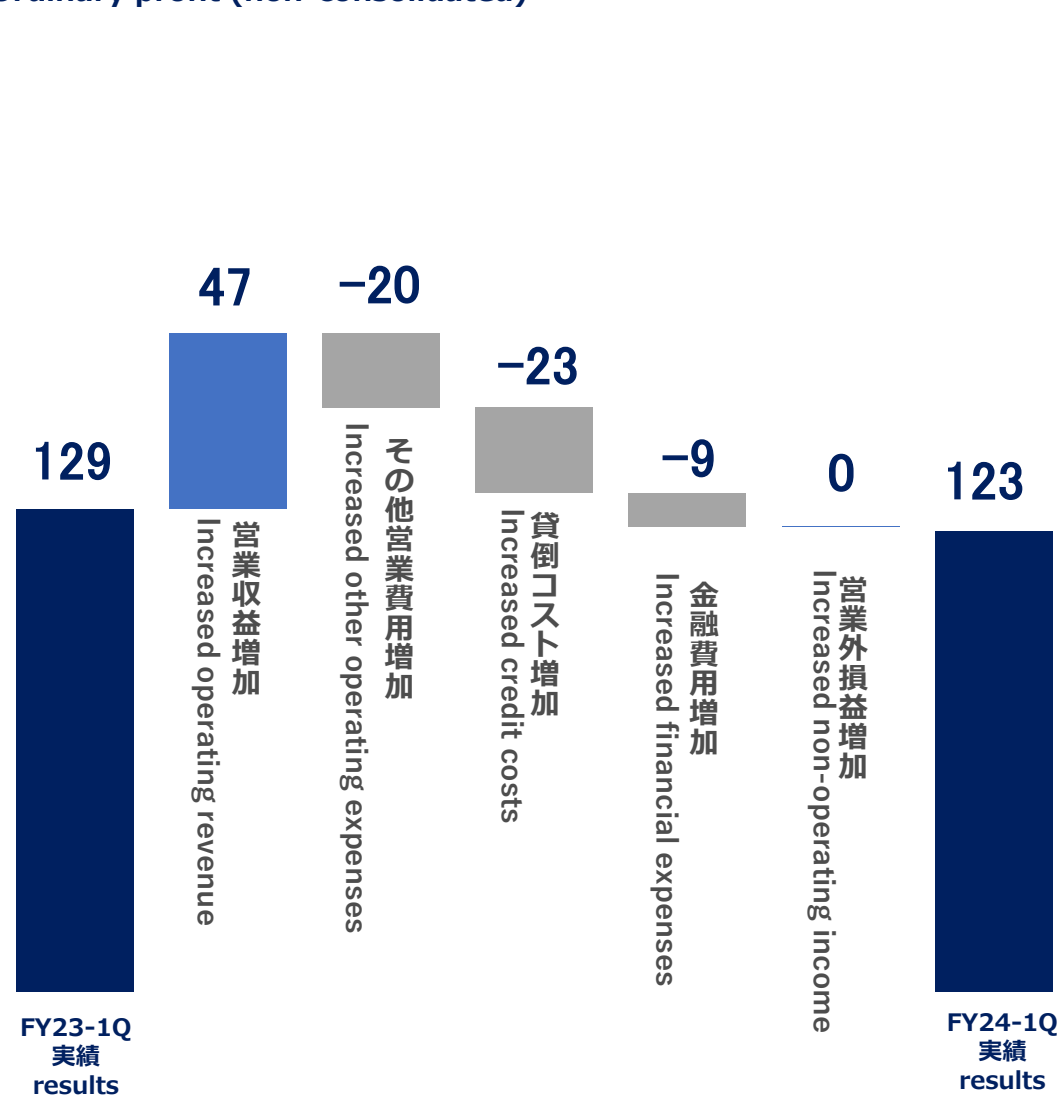
Business profit (consolidated)



■ 単体・経常利益

Ordinary profit (non-consolidated)

(億円 / ¥ 100 Million)

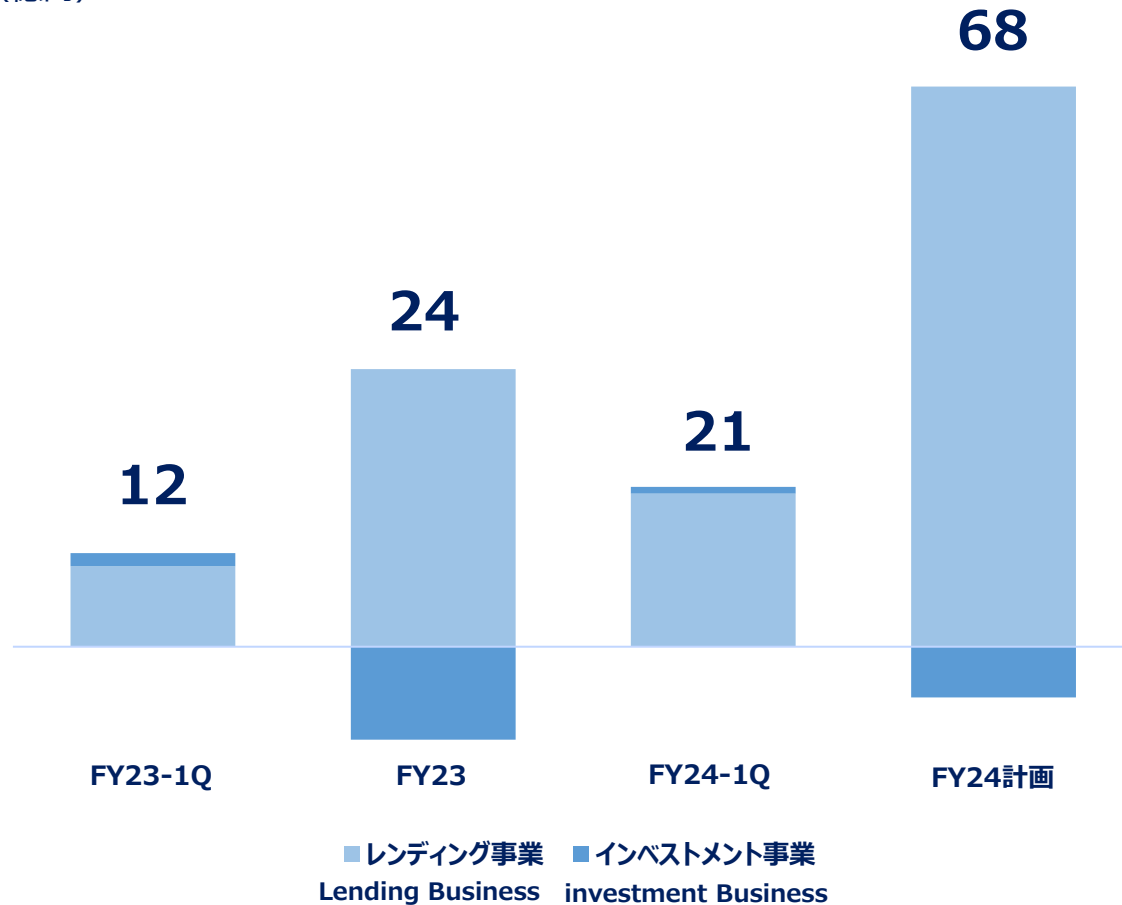


グローバル事業の主要指標

✓ Credit Saison Indiaが全体を牽引し、FY24-1Qのグローバル事業利益は21億円

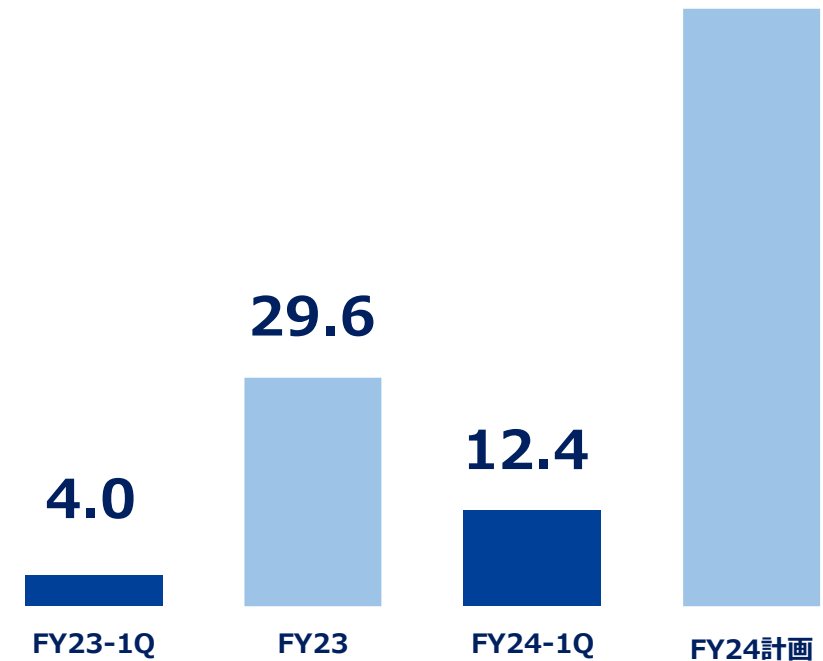
■セグメント事業利益

(億円)



■ Credit Saison India 連結貢献利益

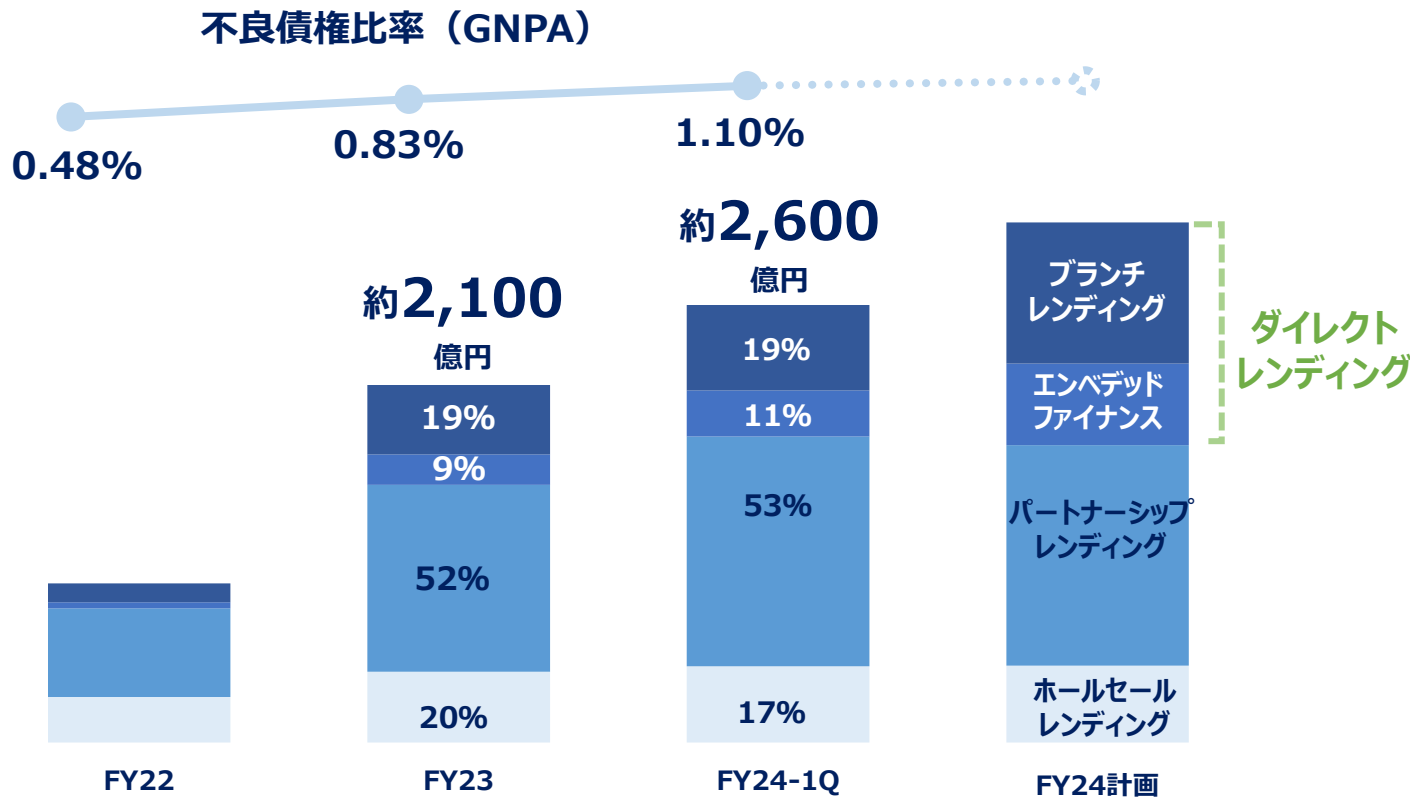
(億円)



Credit Saison Indiaの進捗

- ✓ 債権残高は順調に伸長し、FY24-1Qの債権残高は約2,600億円
- ✓ 引き続きリスクをコントロールしながら、収益性の高いダイレクトレンディングの拡大を図る

■ Credit Saison India 債権残高推移



* オフバランス債権も含む債権残高

* 期末日レートINR 1.93円 (前期末差+0.11円)

ブランチレンディング

支店ネットワークの拡大と
営業代行業者の活用により残高を伸長
支店数：45支店
※新規支店開設1支店
※2024年6月末時点

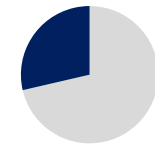
エンベデッドファイナンス

非金融事業者との提携を通じ、
顧客基盤を拡大
提携パートナー数：10先
※新規提携先1社
※2024年6月末時点

ファイナンス事業 クレディセゾン×セゾンファンデックス

✓ 保証ビジネス、不動産ファイナンスビジネスともに残高は順調に拡大

FY21
Off-BS
約30%

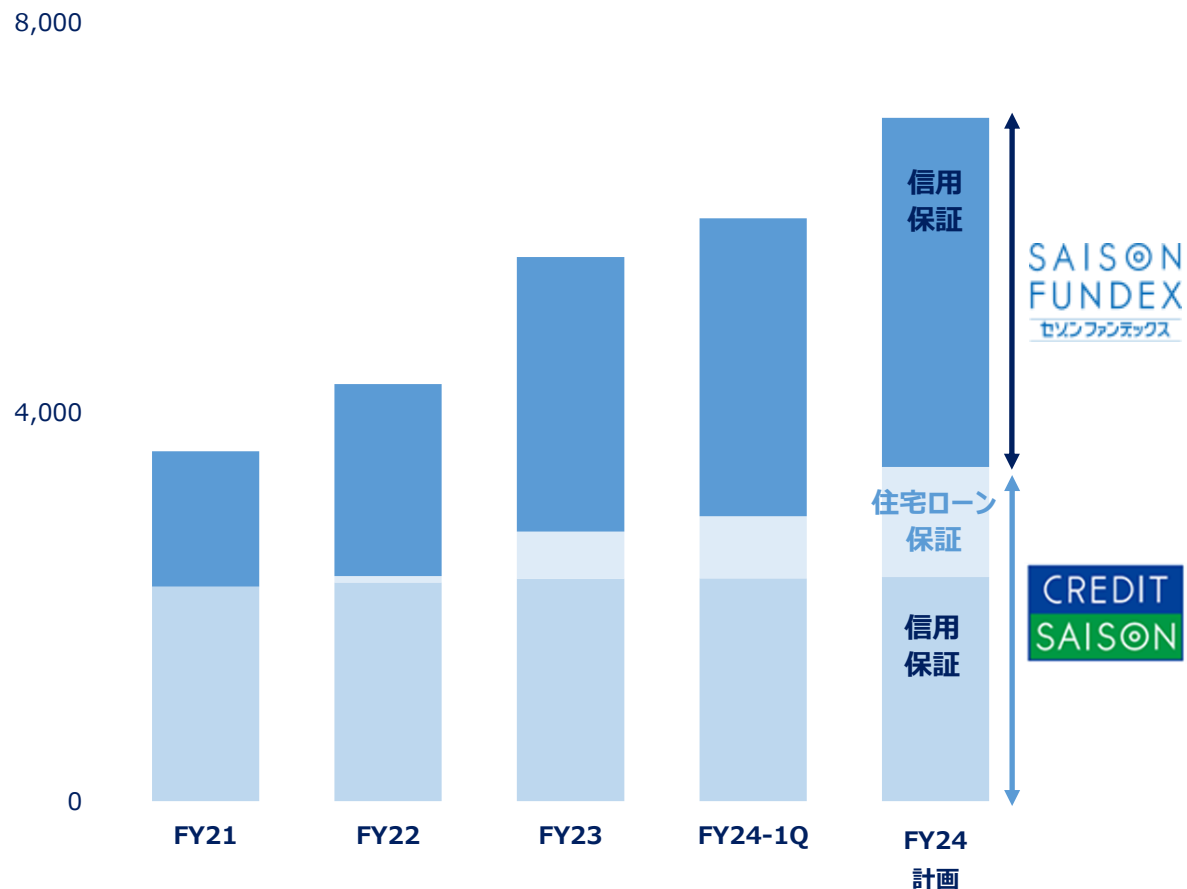


FY26計画
Off-BS
約45%



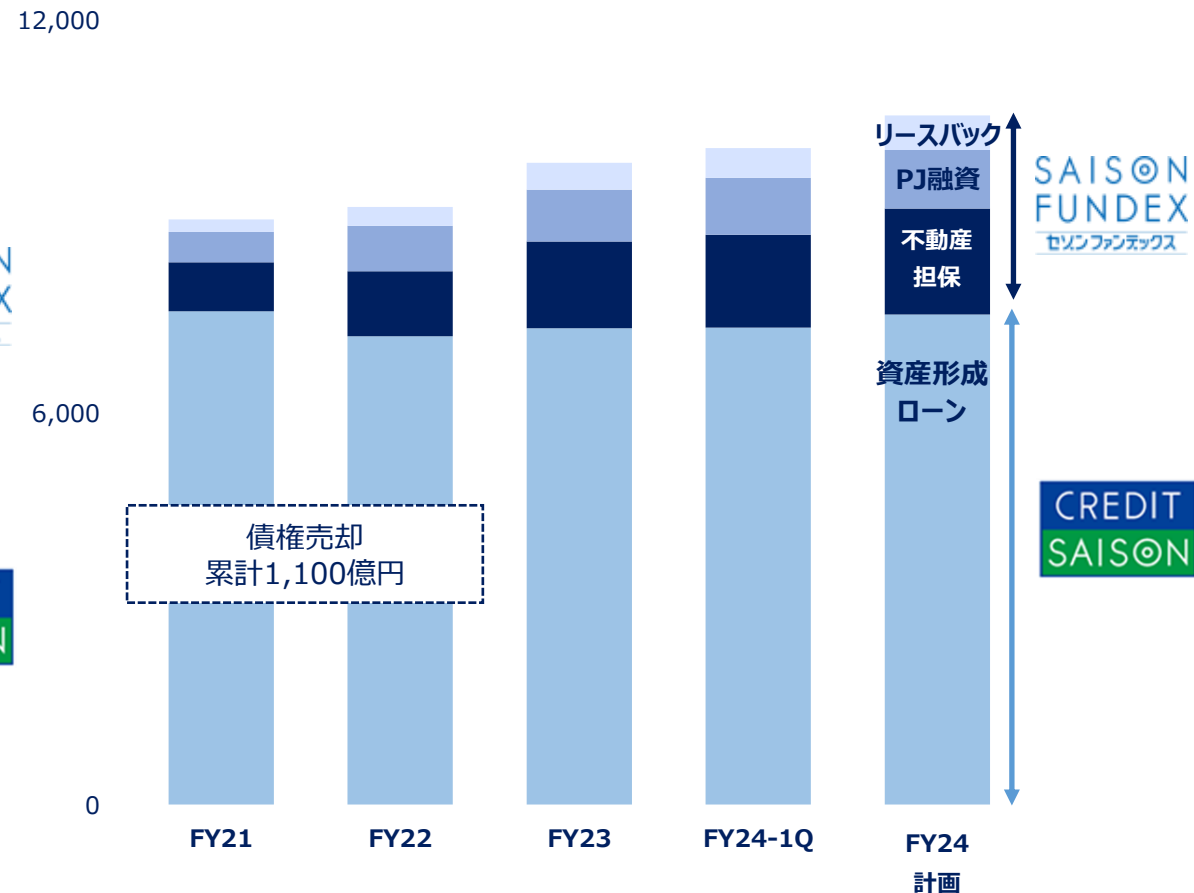
保証ビジネス

■ 保証残高推移 (億円)



不動産ファイナンスビジネス

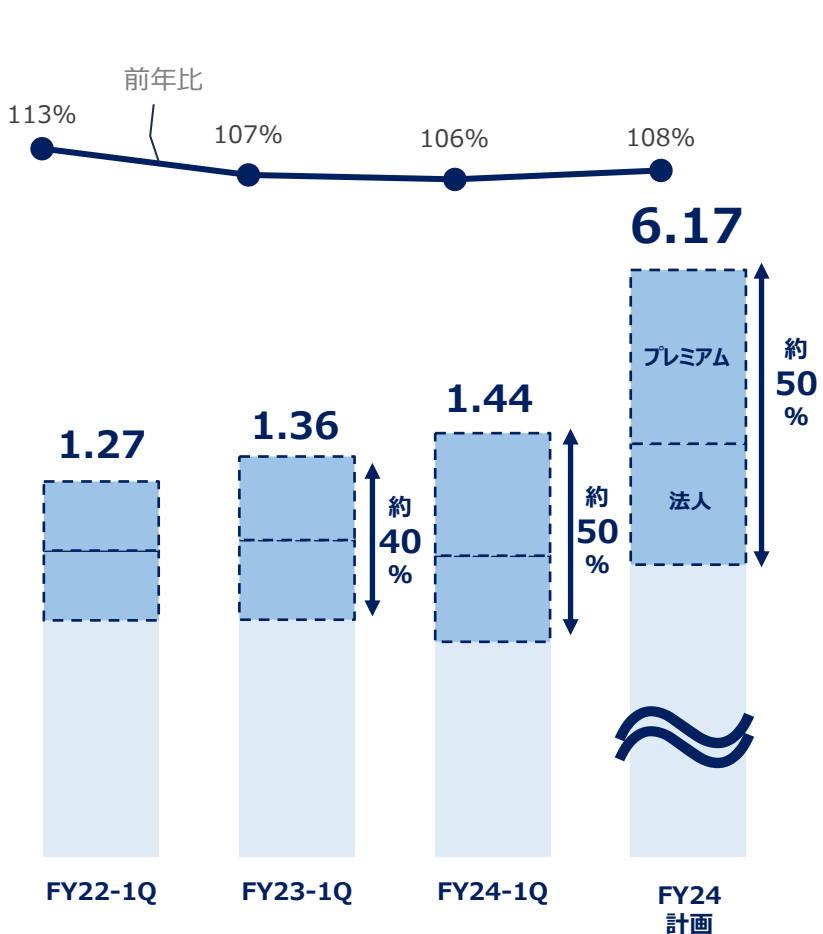
■ 債権残高推移 (億円)



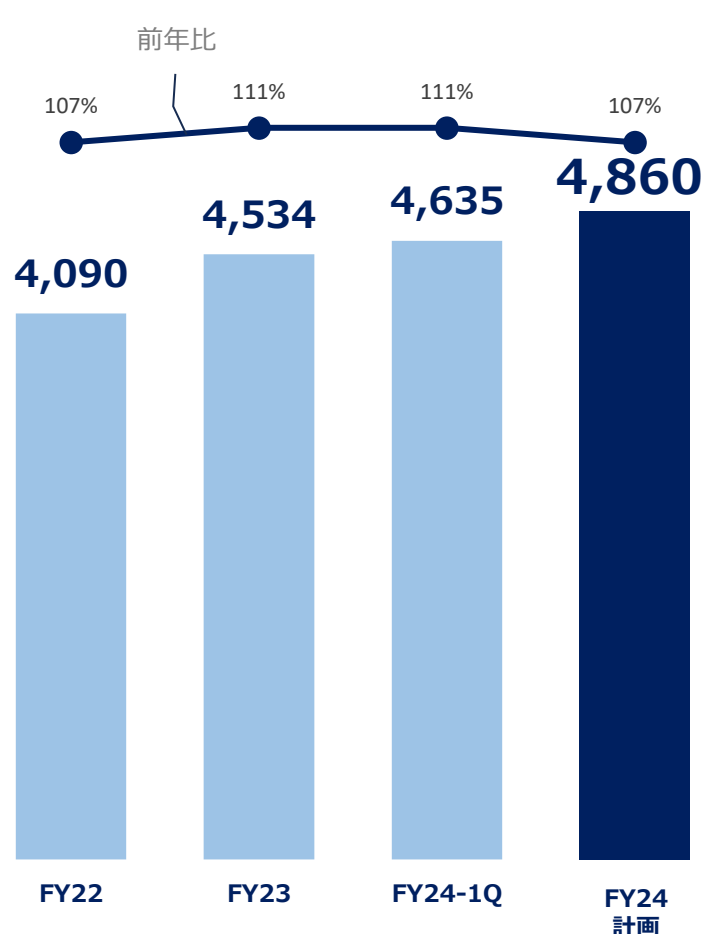
ペイメント事業の主要指標

- ✓ プレミアム戦略によるショッピング取扱高やリボ残高の伸長
- ✓ キャッシング残高はリボ払いやビジネスサポートローンの拡大により伸長

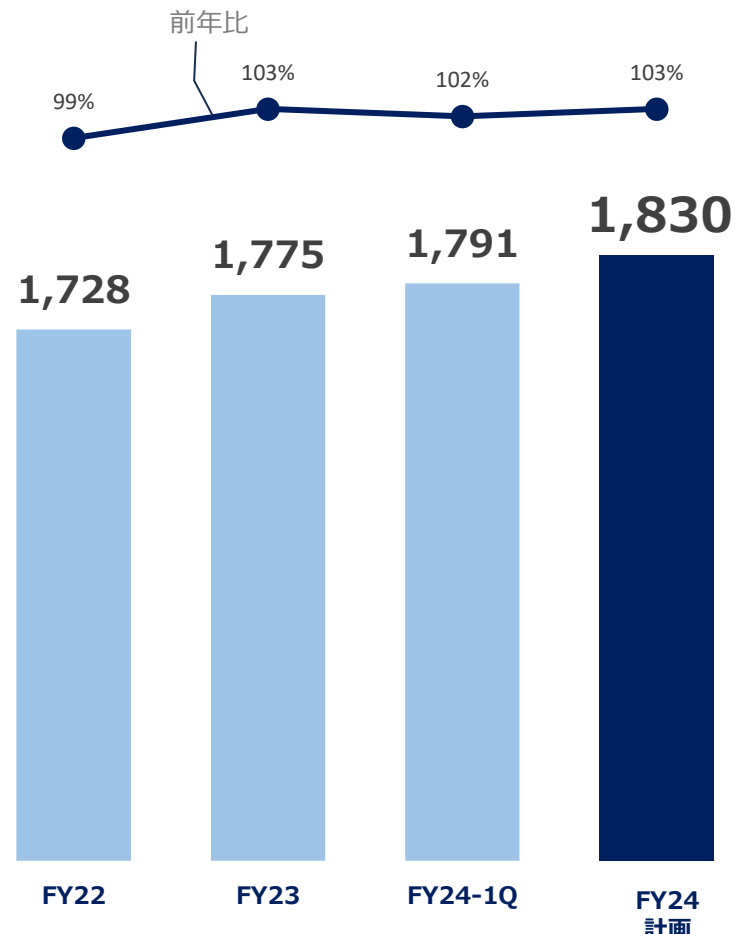
■ ショッピング取扱高 (兆円)



■ ショッピングリボ残高 (億円)



■ キャッシング残高 (億円)



収益性向上に向けた取り組み（進捗）

24年5月新中計での公表内容

収益性向上に向けた
リボ手数料率引き上げ

ニーズを捉えた付加価値の
随時ブラッシュアップと並行した
年会費引き上げや
有料オプションの拡充

足元の状況

一部優遇料率を適用していた
プレミアム券種^(※1)にて
先行して料率引き上げを実施
→顧客離反影響は**想定**の範囲内

一部対象カードにおいて
カードサービス手数料^(※2)、
年会費引き上げ等^(※3)の
アナウンスを開始

今後の見通し

徐々に対象カードを拡大
対象の会員には夏頃から告知を開始
冬頃から新料率適用予定

カードサービス手数料の引き落とし
2025年8月4日開始

※1 対象カード セゾンゴールド・アメリカン・エクスプレス[®]・カード（年会費優遇型）、セゾンローズゴールド・アメリカン・エクスプレス[®]・カード

※2 対象カード セゾンカードインターナショナル、セゾンNEXTカード*AMEXブランド除く、セゾンゴールド・アメリカン・エクスプレス[®]・カード（旧ウォルマートカード セゾン）において1年間カードのご利用がない場合に発生

※3 対象カード セゾンプラチナ・ビジネス・アメリカン・エクスプレス[®]・カード、MileagePlusセゾンカード等

資本政策（進捗）

24年5月新中計での公表内容

自己株式取得実施

新中計期間中に
700億円を目途に取得を計画
(FY24に内500億円を実施)

政策保有株式縮減

新中計期間中に
70%相当を縮減

足元の状況

取得した自己株式の累計

- (1) 取得した株式の総数3,140,900株（進捗率12.6%）
- (2) 株式の取得価額の総額10,541,872,146円（進捗率21.1%）

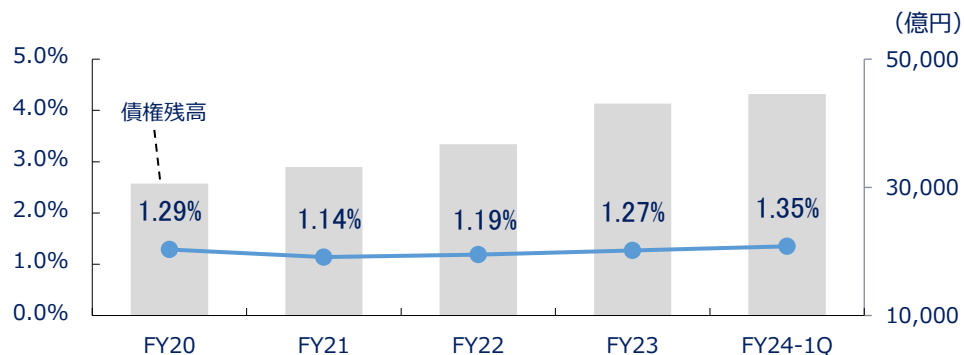
※2024年7月31日現在

現時点でアナウンスできるものはないものの、
売却に向け相手先との協議中

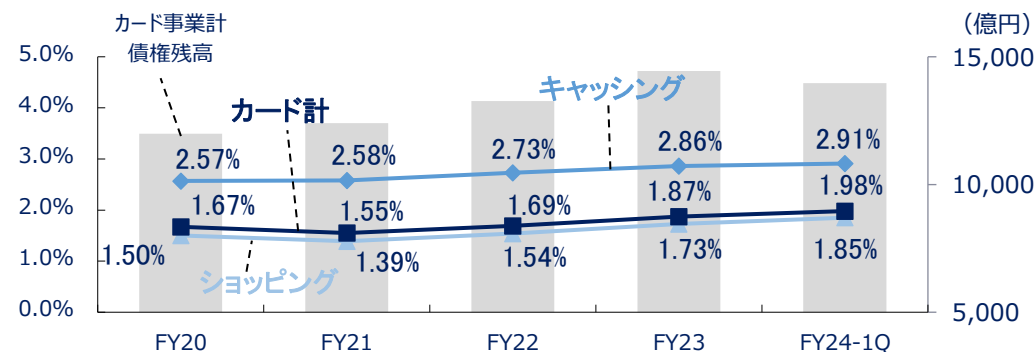
債権リスク

✓ 債権残高拡大に伴い延滞率は上昇傾向、今後の動向を注視

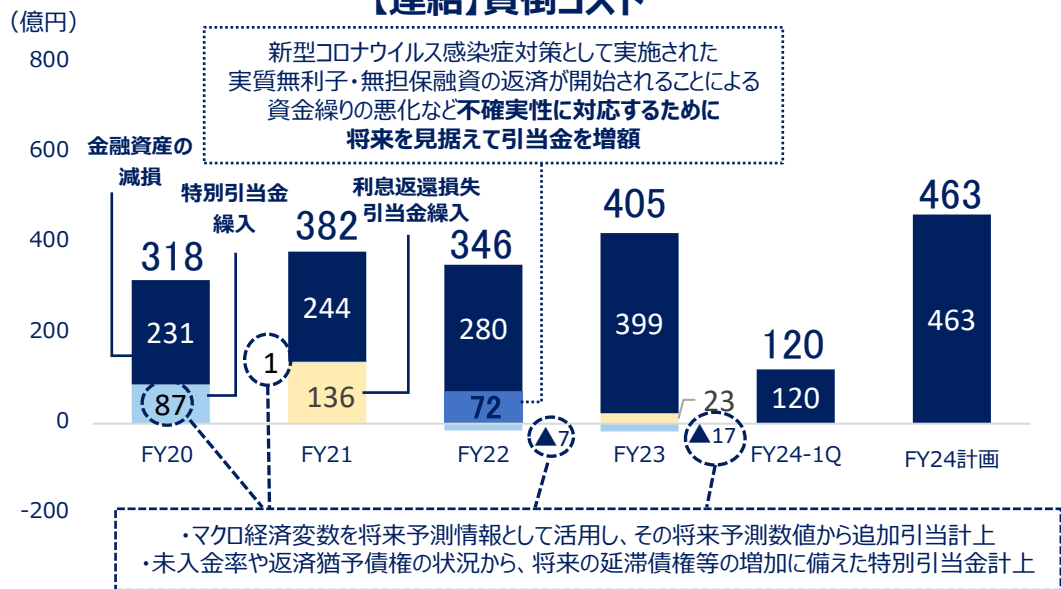
【連結】90日以上延滞率



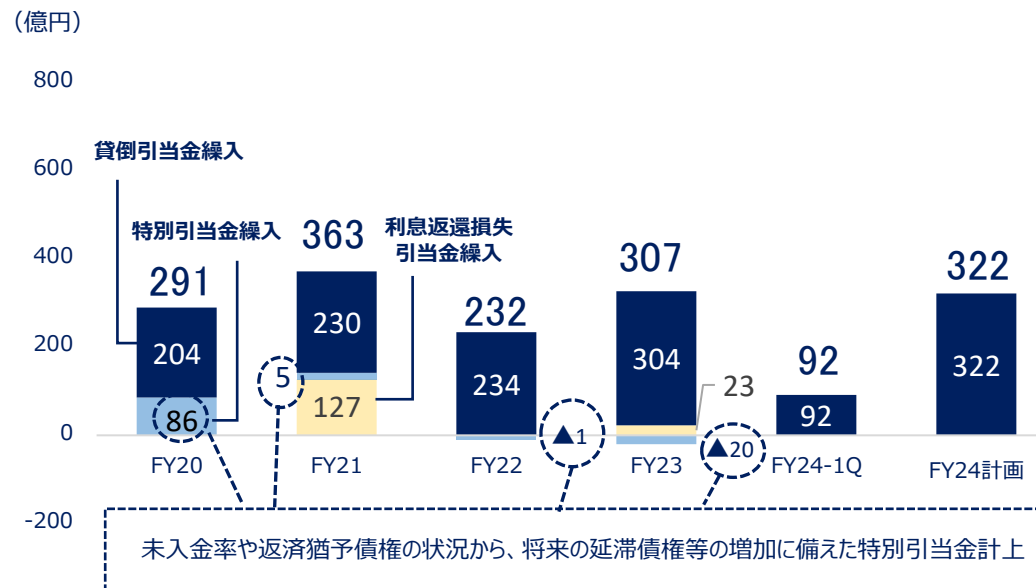
【単体】90日以上延滞率



【連結】貸倒コスト



【単体】貸倒コスト



ESG・外部評価（一例）

2024 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数

各セクターにおいてESGの対応に
優れた日本企業で構成される GPIF採用ESG指数

2024年
初選定

2024 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

性別多様性に優れた企業を
対象に構築される GPIF採用ESG指数

7年
連続認定



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

2年
連続選定

各セクターにおいてESGの対応に
優れた日本企業で構成される GPIF採用ESG指数



CDP 気候変動質問書
2023「B評価」認定

2年連続
B認定



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

温室効果ガス排出量削減目標
2024年認定*

初取得



DX銘柄2024
Digital Transformation

優れたデジタル活用の実績が表れて
いる企業の選定制度

2年
連続選定

*温室効果ガス排出量削減目標 <2030年度> Scope1、2: 2020年度比で42%削減 / Scope3: 2020年度比で25%削減

IR・投資家情報

URL: <https://corporate.saisoncard.co.jp/ir/>

サステナビリティ情報

URL: <https://corporate.saisoncard.co.jp/sustainability/>

本資料のうち、業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報での判断および仮定に基づき予測算定しております。この当社判断や仮定による不確定性および今後の事業運営や経済環境など、内外の状況変化による変動可能性如何によっては、実際の業績などが見通しの数値と異なる可能性があります。